



かけはし

第75号

法人名：豊延会 発行：イシノ療護園

編集：かけはし編集委員会

発行日：平成26年3月31日

〒370-0535 TEL0276-63-7652

群馬県邑楽郡大泉町寄木戸1070

「行事」

～忘年会・クリスマス会～

12月19日 食堂にて

★お寿司もオードブルもおいしかったです。職員の余興もとっても楽しく見る事が出来ました。

シャンパンも美味しかったあ！！

☆利用者様 新井 弘子様

★今年は暗幕を新しくし、利用者様に年末気分をより一層感じてもらえたのではないかと思います。

利用者様と一緒に選んだ食事のメニューも、残す事無く美味しく頂いてもらえたかと思えます。

☆生活支援員 八須 さと乃



～新年会～

1月15日 食堂にて

★今年も皆とワイワイとしながら、食事が出来とても楽しかったです。

余興（ロシアルーレット）も面白く楽しく見させていただきました。

☆利用者様 石川 久美子様

★（生活支援員）お餅やうどん、沢山の具材が入った寄せ鍋とカレー鍋を皆様

「美味しいー！！」と言いながら喜んで、頬張っていました。

☆生活支援員 新島 美希



～節分会～

2月3日 東棟ホールにて

★鬼に向かって、力いっぱい豆まきをして、胸がすっきりしました。今年一年間、健康でいられますように！

☆利用者様 中村 照子様

★多くの利用者様が参加し、利用者様の中から鬼役をしていただきました。会に参加した全員が楽しそうに豆を投げ、「鬼」を払い「福」を呼んでいました。鬼役の方は「痛い、痛い」と叫んでいましたが、それもまた楽しそうでした。

☆生活支援員 渡部 澄人



～ひな祭り会～

3月5日 食堂にて

★写真をお雛様とお内裏様になり、写真を撮ったのでとても楽しかったです。お雛様になった気分が味わえました。

☆利用者様 見供 千年様

★普段しない化粧を施し、お雛様やお内裏様になれたことで利用者様の笑顔が一段と輝いていました。とても楽しい雰囲気ひな祭り会が出来ました。

☆生活支援員 藤野 彰人

お知らせ

イシノ療護園、及び豊延会の各情報をご覧頂けます。HPでは随時、新しい情報を更新していますのでお気軽にアクセスして下さい！

URL⇒<http://www.houenkai.jp/> または“イシノ療護園”で検索して下さい。

～餅つき大会～



12月25日 食堂にて

★みんなで協力しながらもちつきが出来て楽しかったです。

☆利用者様 濱野 泰治様

★今回初めて行われた餅つきです。みんなで、「よいしょ。よいしょ」と声を出しながら力を合わせてみんなで楽しくお餅をつきました。とても一生懸命に取り組んでいる方が印象的で、皆様はとても喜んでいました。

☆生活支援員 橋口 加代子



～新入職員紹介～

身体障害者施設での仕事は初めてなのでわからない事が多いですが、一日も早くご利用者の方たちの状態を把握し、それぞれに合った看護を行えるよう頑張りたいと思います。

看護師 東内 歌奈子

「活動」

～音楽療法 森圭一郎ライブ～

2月22日 デイサービスホールにて

★森さん自身が作詞・作曲した曲を中心に「ふるさと」「上を向いて歩こう」を歌い、ライブの合間には、楽しいトークもありました。16歳の時に事故にあってから感じた事を歌にし、特にご両親の事を思って作った曲は、感動して泣いている利用者様もいる程、心に残る曲でした。アンコールも盛り上がり、森さんから元気をもらえたライブとなりました。当日参加して下さった利用者様・保護者様・準備を手伝って頂いた係りの職員方ありがとうございました。

☆生活支援員 櫻井 久美



～音楽療法 山下 Topo 洋平さんライブ～

3月8日 デイサービスホールにて

★山下さんのケーナと、高橋さんのギターとの演奏が始まる前から、利用者様の緊張感が伝わってきました。演奏が始まると、ホールに反響した心地よい音色が響き、利用者様全員が聴き入っていました。また、歌謡曲や、唱歌等の曲目もあり、一緒に歌ったり、リズムに合わせて手拍子をしたりと、演奏者との一体感を楽しむ事の出来た演奏会でした。保護者様の協力が有って今回実現する事が出来、感謝のひと言です。

☆生活支援員 高野 友美



★普段聴く機会の少ない生演奏だったので、楽しかったです。特に森さんの、ご両親を思った歌はとても心に響き泣いてしまいました。

☆利用者様 森沢 文人様

施設長より

今年の冬は記録的な大雪に見舞われましたが、大事な事無く新年度を迎える事ができました。

障がい福祉も平成25年4月と平成26年4月の2段階の施策が施行されめまぐるしく障がい福祉の動向は変わってきておもしろです。

障がい者支援施設として、ご利用者様の生活の場としてその役割と機能が求められています。それはご利用者様の生命線を保証しつつ、ご利用者様が求めている人間らしい生活保障を支援するものでなければと思います。

人権擁護の確立は障がい者福祉の基本であり、表現の自由をはじめ、労働や教育、そして生活権を阻むものを除去し、ご利用者様の自立（自律）に向けた支援を提供に向けての総合的な支援をしなければならないと思っております。

集団支援を個別支援の上に置いたり、施設プログラムに機械的に適応させる支援では、自立的な人間として個々のライフステージを提供する生活支援とは言い難い。個人を基本とした自立に向けた支援こそ、サービスの提供と思っております。

施設従事者としてご意見を聴き、安心して生活できるような高いクオリティーのサービスを提供したいと思っております。

御利用者の方のためにいかに役立つという意識改革が必要であり、地域や時代のニーズに十分対応できるサービスを提供していきたいと思っております。

そして、初心を忘れることなくさらに個人の人間性を向上し、素晴らしい人材を最大限に活かした施設づくりを職員一丸となって共に前進努力いたす所存でございますので、今後ともご指導、ご鞭撻の程、何卒宜しく願いいたします。

<編集後記> 今年度の「かけはし」はこの回にて終了となります。来年度もイシノ療護園で暮らす、

利用者様の生活風景をお送りしていきたいと思っております。

【かけはし編集委員】職員:大竹 隆一 沖山 真由美 金谷 裕隆

来年度は新しい編集員になりますが、今年度も宜しくお願い致します。

※写真の掲載されているご利用者の方々には了承を得ています。



社会福祉法人 豊延会